

# 令和 2 年度 麗澤大学後援会総会 補足説明資料

—はじめに—

- (1) 平成 31 年度事業報告
- (2) 平成 31 年度収支決算報告
- (3) 令和 2 年度事業計画
- (4) 令和 2 年度以降の予算編成方針
- (5) 令和 2 年度収支予算
- (6) 令和 2 年度役員・顧問の選任

令和 2 年 4 月 25 日

麗澤大学後援会事務局

<後援会総会補足資料>

麗澤大学  
後援会事務局  
文責：学生課・財務経理課

## 後援会総会の審議事項について（補足説明）

後援会会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本学の対応方針の影響により、入学式をはじめとした4月開催予定の学内行事が中止となり、授業開始も延期される等、ご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことお詫び申し上げます。

さて、4月25日に予定されておりました後援会総会が中止となりましたが、先に文書にてご案内のとおり、オクレンジャーにて総会の決議を行うことになりました。

つきましては、総会の本編資料（事業計画、収支決算・予算案等）を補足説明するための資料を作成しましたので、本編資料・別添資料と合わせてご確認いただき、審議案件について決議回答いただきますようお願い申し上げます。

記

### ■はじめに■

昨年11月から4月までの役員会においては、**【学生満足度向上に向けた後援会予算の全面的な見直し】**という本学の基本方針に基づく様々な提案をする中、役員会において前向きに意見交換いただき、学内における内部調整を経て、4月役員会（LINE等の遠隔会議）にて最終決議されました。

今回の総会において、特に審議いただきたい重要案件は、以下のとおりです。

#### ■平成31年度事業報告

#### ■平成31年度収支決算報告

#### ■令和2年度事業計画・予算編成方針・収支予算

1. 後援会予算の執行方法・会計処理の変更（直接負担から寄付金助成）
2. 外国人留学生援助費の新予算科目の追加・内容（変更案を提示）
3. 課外活動施設（スモールシアター）移設改修費の助成（1000万円）
4. 学生食堂の品質向上等の助成（500万円）
5. 校舎かえで教室硬椅子用クッションの助成（250万円）
6. 卒業記念品の予算算入（100万円 卒業生への協力費募金⇒後援会助成）
7. 広報活動援助費の削減（1000万円相当）
8. 後援会ホームページの制作・後援会しおりのWEB掲載化（120万円相当）

#### ■役員・顧問の選任について（特別顧問の選任）

## <審議事項>

### (1) 平成 31 年度 事業報告について ※9 月父母懇談会以降

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として以下の行事を中止した。

- ・ 3 月役員会 ・ リーダーセミナー（課外活動代表者・寮生）
- ・ 学位記授与式 ・ 謝恩会 ・ 卒業生と在学生の情報交換会

### (2) 平成 31 年度 収支決算報告について

新型コロナウイルスに伴う各種行事の中止等により、下記科目の実績が下がった。

#### <大学援助費>

■教育活動援助費：	<主な増減額（事由）>
謝恩会	△200 万円（開催中止）
TOEIC 検定料（1 年生）	△195 万円（一部大学予算充当のため）
公務員対策講座	△160 万円（受講対象者減）
■課外活動援助費：	
リーダーセミナー諸経費	△95 万円（2・3 月セミナー中止）
学生旅費・交通費援助	△113 万円（3 月活動自粛要請）
顧問等合宿援助費	△33 万円（3 月活動自粛要請）
■進路指導援助費：	
カウンセリング業務強化支援	△270 万円（委託業者変更）
大学総合パンフレット	△40 万円（業者変更・簡素化）
■広報活動援助費：	
麗澤旗親善剣道大会援助	△40 万円（大会中止）
■学生生活動施設・設備等援助費	3890 万円（iFloor 改修工事援助）
※当該援助費は「学生生活動援助積立金」を収入予算に計上して充当した。	
■機器設備援助費：	
iFloor の CNN 放映料	35 万円（11 月役員会にて承認）
卒業記念品	△50 万円（繰越協力金にて全額充当）

大学援助費としては、実績 1 億 58 万円、2570 万円余（34%増）の予算超過となったが、「学生生活動援助積立金」3890 万円弱を除くと 6172 万円の実績、1300 万円余の予算残となる。

#### <父母懇談会>

父母懇談会は、今年度から柏会場に統合して開催し、250 名の参加を想定して予算計上したが、参加実績が 200 名弱であったため、82 万円余の残となった。次年度に向けて、さらに広報の充実を図り、参加者増を見込んだ予算計上を行いたい。

#### <運営費>

旅費交通費、雑費については、3 月役員会の中止に伴う支出が減額されることに伴い、合算して 132 万円余の予算残となった。

運営費総額としては、813 万円相当の実績、167 万円余の残となった。

### <予備費>

予備費については、予備費の流用として（・駐輪場スタンドの設置費用 540 万円 ・喫煙フェンス設置 80 万円）が 11 月役員会にて承認されていたが、喫煙フェンスについては産業医の指導により喫煙場所を移設したため、予算執行されなかった。

### <総括>

平成 31 年度収支決算については、312 万円余の今期末払い金支出を含めて、学生生活活動援助積立金から充当する「iFloor 改修工事費に対する特別援助費 3885 万円余」を除くと、支出総額は 7,500 万円余、繰越残高は 2,330 万円余となりました。

2,330 万円余となる繰越金の一部については、課外活動等の学生生活活動援助費として有効活用するため、次年度予算案において提案しております。

### (3) 令和 2 年度 事業計画について ※「令和 2 年度 麗澤大学後援会 事業計画」参照

■**教育活動援助**：入学式昼食代援助については、入学式後のオリエンテーション等の行事を勘案したスケジュールを前提として昼食を支援してきたが、令和 2 年度以降は入学式の開式時間・式後のスケジュールを見直し、午前中で式典関連行事を終了させることとした。入学生全員を対象とする行事がなくなるため、昼食援助費を削減し、他に転用することとした。

■**課外活動援助**：※別添資料「英語劇等スモールシアター移転費用の助成について」のとおり、老朽化が著しい課外活動施設を他の施設（大学教育プラザ プラザホール）に移転することに伴う改修工事を援助する単年度行事を実施することとした。  
学友会からの援助がない、同好会及び非公認団体の活性化を支援するための予算を計上し、より効果的に課外活動を支援することとした。

■**学生生活援助**：予算科目を明確化させるため、従前の「学生援助」から「学生**生活**援助」に科目名称を変更した。  
学生食堂について、学生満足度調査結果への対策支援として、品質向上・価格抑制を支援するための予算を計上し、学生生活の向上を効果的に支援することとした。

■**外国人留学生援助**：大学ブランド力の向上支援として予算計上してきた「広報活動援助」に代えて、新たに【**外国人留学生援助**】を大学援助項目の一つに加えることとした。  
「広報活動援助」は、後援会の大学援助科目から削除した。  
助成の内容については、外部試験（日本語能力検定試験及びビジネス英語検定テスト）の成績優秀者に対して助成する案とした。  
助成方法等の詳細については、※別添資料「外国人留学生支援費の新設について」を参照のこと。

■**機器設備援助**：卒業記念品については、これまで卒業生の保証人に協力金を募金し、繰越金と合算して 100 万円相当の備品を購入してきたが、募金納入者は毎年 20 名前後と少なく、公平感のある対策を講じるべく、大学援助品目に算入することとした。

#### (4) 令和2年度以降の予算編成方針について

＜後援会費の会計処理・援助方法の変更＞

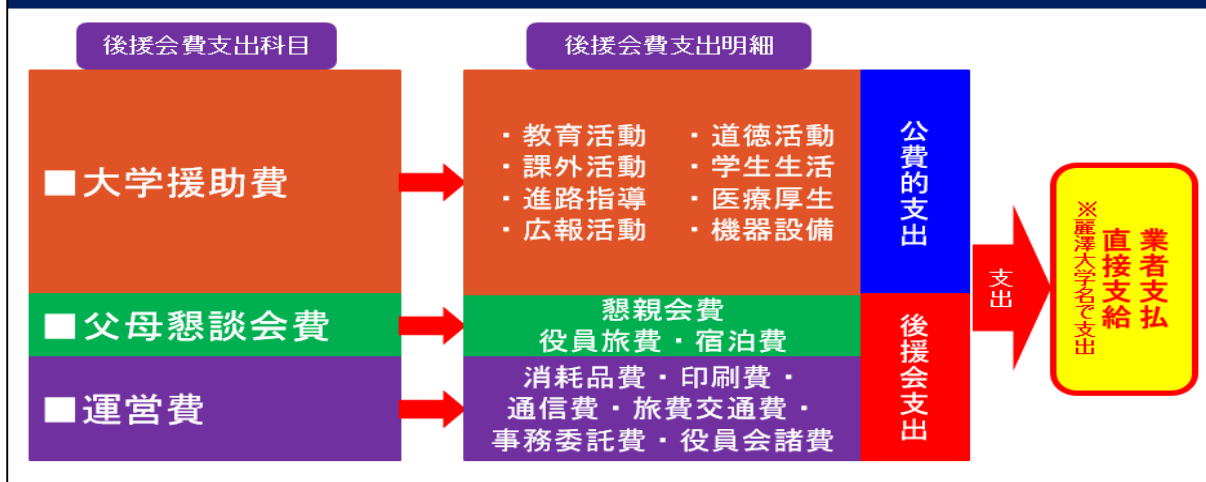
これまで、大学援助費については、後援会予算から直接支出する会計処理を行ってききましたが、実質的には大学と業者間の契約に基づく支払い等、「麗澤大学名」で支払い処理をせざるを得ない予算科目が多く、学校会計基準に基づく、より実態に整合する適正な会計処理が求められておりました。

本学園の財務部及び監査法人等と検討を重ねた結果、大学名で支出する予算科目については、麗澤大学の教育研究経費（大学公費）から支出し、その実績に基づく額を後援会から寄付金として助成する会計方式を導入することになりました。このことによって、後援会が不利益を被ることはなく、予算額を限度として大学に助成することが可能となる等、実務的な合理化を図る一助にもなります。

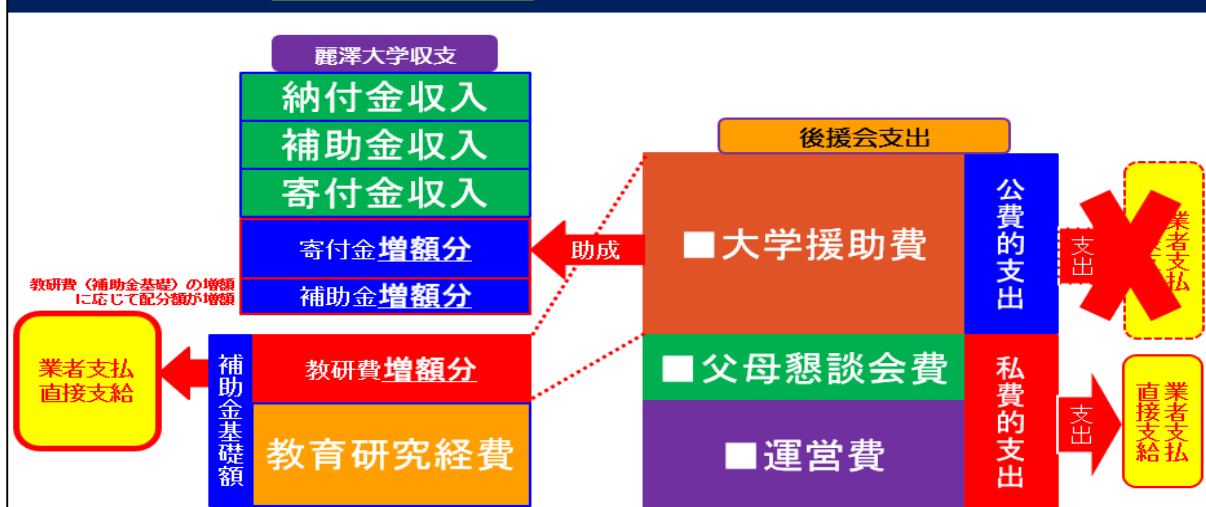
これまでどおり、後援会から直接支出する大学援助費科目は以下のとおりです。

- ・教育活動援助費（謝恩会）
- ・道徳活動援助費（全て）
- ・学生生活援助費（学生食堂小鉢（朝昼夕）・健康診断・学食品質向上支援 **★新規**）
- ・外国人留学生援助費（全て **★新規**）

### 大学援助費支出方法(現行)



### 大学援助費支出方法(変更後)



予算編成方針については、前記の会計処理・援助方法の変更を含めて以下のとおりとした。

11月に開催された役員会以降、役員会と大学間との調整を経て、「後援会費の会計処理・援助方法の変更」の内容を示す以下の**枠内**に盛り込むこととした。

## 2020年度以降の予算編成方針案

▶後援会費の予算編成については、麗澤大学のビジョン(知徳一体教育・専門性向上・正課外教育充実・学生満足度向上)実現を支援するための予算編成(特に大学援助費)を最優先としています。

▶助成方法は、後援会費からの直接負担から、実績に応じた**大学への全額助成(寄付金)方式に変更**する。

▶外国人留学生については、新たに【外国人留学生援助費】等の優先項目を設け、外国人留学生・保証人に**還元**できる予算を編成する。

▶学生活動援助積立金は、**周年記念事業で学生に還元される施設設備の整備援助費**として毎年繰越金の一部を積み立てる。

### (5) 令和2年度収支予算について ※「**令和2年度 麗澤大学後援会収支予算**」参照

#### <収入の部>

収入予算については、入学者数 1.1 倍を基本として、学生数 2875 名からの会費収入 8625 万円に利息収入・前年度繰越金 2332 万円余を加算し、総額 1 億 950 万円余の予算とした。

#### <支出の部>

■**教育活動援助費**：上級生の TOEIC 検定料を増額支援 (387 万円) するとともに、公務員講座費は実績に応じて 130 万円減額し、入学式後オリエンテーション等のスケジュール調整により昼食助成 71.5 万円を廃止減額したが、総額では 127 万円余の増額とした。

#### ■ ZOOM による遠隔授業の実施助成

新型コロナウイルスの影響により、4 月に予定されていた TOEIC 検定試験が中止となったため、4 月分の TOEIC 助成予算 380 万円相当を 5 月 7 日以降に予定される **遠隔授業実現のための助成 (ZOOM との通信契約料)** に充てることを提案させていただきます。

■**道徳活動援助費**：端数調整 (変更なし)

■**課外活動援助費**：※別添資料「**英語劇等スモールシアター移転費用の助成について**」のとおり、老朽化が著しい現スモールシアターを大学教育プラザ内のプラザホールに移転させるための改修工事費 3000 万円相当を援助するため、1000 万円の援助費を計上した。新たなスモールシアターは、英語劇グループのほか、フォークソング同好会や学生のプレゼン会場としての活用も想定されており、幅広く学生に還元できる施設となる予定である。課外活動援助費として、総額 2250 万円余となり、前年度よりも 1000 万円余の増額とした。

■**学生生活援助費**：駐輪スタンド設置費 540 万円、SNS 委託費 170 万円を削減した。

※別添資料「**学生食堂ひいらぎの品質向上支援について**」のとおり、学生ニーズの高い学生食堂ひいらぎの品質改善支援として 500 万円を増額した。

## 後援会費の有効活用策(喫食支援)

### ■学生食堂（味・質・価格）の改善支援

#### ■内容⇒総額**500万円**を助成

- ① **消費税増税助成（10円増額抑制）**
- ② **大盛増額助成（50円⇒100円増額抑制）**
- ③ **特製カレーの販売助成（280円⇒450円 170円助成）**
- ④ **定食・うどん等の品質向上**
- ⑤ **メニューの増加（和食・洋食のバランス調整）**
- ⑥ **朝食喫食支援（1時限目授業の増加に対応）**

学生満足度調査結果の対策として、校舎かえで教室椅子用クッション購入費 250 万円を増額した。

## 後援会費の有効活用策(備品)

### ◆校舎かえで教室の硬椅子用クッション

- ・内 容：各フロア(3階～6階)に設置
- ・予 算：**250万円**(1770円×1200) ※**学生生活援助費より**

運営費に算入されていた「新入生メッセージ」印刷費 22 万円を本科目に移管し、総額で 282 万円余の増額とした。

■**進路指導援助費**：キャリアカウンセラーの業務委託先を変更するとともに、パンフレット制作製委託業者も変更したことで 362 万円相当の減額とした。

■**医療厚生援助費**：消費税増額に伴い、平成 31 年度実績に基づき、健康診断費用を増額した。

■**外国人留学生援助費**：予算編成方針（日本人学生と比較して還元率の低さを是正するための支援を行う）に基づき、新たに予算科目を新設した。

※別添資料「**外国人留学生支援費の新設について**」のとおり、外国人留学生を支援するため、会費徴収額の40%に相当する500万円を予算化した。

■**機器・備品援助費**：卒業生保護者からの協力金と繰越金を充当していた卒業記念品代100万円について、50万円を増額して予算化したため、120万円相当の増額となった。平成31年度は当該予算を充当せず、繰越金全額を充当した。

■**運営費**：毎年冊子を印刷して配布してきた「後援会のしおり」をPDF化するとともに、「麗澤大学後援会のホームページ」を新たに制作し、後援会事業（総会・父母懇談会・役員会等）をタイムリーに情報提供できるよう整備するための予算を計上した。

※別添資料「**後援会ホームページの制作と後援会しおりのWEB掲載化について**」参照。

■大学援助費については、総額8878万円余の支出予算となり、前年度と比較して868万円余の増額となったが、単年度支出となるスモールシアター移転改修工事費助成1000万円については、前年度繰越金2330万円余（新型コロナウイルスの感染拡大に伴う2月・3月行事、学生活動が中止となり、想定よりも1200万円多い予算残高となった）から充当して予算化することとした。

■父母懇談会については、平成31年度に多数キャンセルのあった地方参加者の参加を見込み、20万円の増額とした。

■運営費については、役員会の印刷費に算入されていた「大規模災害マニュアル」18万円、「新入生メッセージ印刷費」22万円、「新入生住所入力委託費」10万円を科目と整合するよう、学生生活援助費に移管したが、「後援会のホームページ開設」「後援会のしおりのWEB掲載化」の予算120万円を増額したことにより、10万円の予算減とした。

以上の結果、予備費を除く支出予算総額は1億100万円余となり、昨年度の9230万円と比較して878万円の増額となった。

予備費については、収入予算から支出予算総額（1億100万円）と前期未払い金（312万円）を除く額で算出し、536万円余となった。

前年度と比較して1000万円超の支出については、新型コロナの影響で2・3月に執行不能となった前年度予算の繰越金2332万円から充当して還元活用する予算案とした。

## (6) 令和2年度役員・顧問の選任について

⇒※別添資料「**令和2年度 役員・顧問の選任**」参照

■11月の役員会にて承認された、「**令和2年度以降の後援会役員選任方針**」（※別添資料参照）に基づき、8名の役員を選出することとした。

■副会長には、現任の菊江幹事と三保幹事がそれぞれ選任された。

■幹事には、現任の吉原幹事に外国人留学生担当幹事を選任するとともに、新任として推薦のあった三瓶俊明氏と深町メグミ氏の2名が選任された。



■顧問については、前年度4月の役員会にて承認された、「平成31年度以降の後援会顧問・参与の選任基準」【①顧問は前任の後援会長とする ②参与は学長・副学長・大学事務局とする】に基づき、前会長の炭谷顧問を正規顧問に選任するとともに、異顧問を特別顧問として選任することが3月の役員会にて承認された。異顧問の選任については、後援会行事・予算の大幅な見直しが進捗する状況の中、過去の経緯を踏まえて、後援会基点に立った適切な助言を仰ぐ必要があるため、特別顧問として選任された。

## ＜報告事項＞

### (1) 令和2年度入試結果について

- ・本編資料のとおり、新設の国際学部が定員に1名及ばなかったものの、3学部全体では目標の1.1倍（660名）の入学人数を達成した。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年4月より国際学部開設 （各学部定員の変更あり／外国語学部：220名、経済学部：220名、国際学部：160名）</li> <li>・志願者数は増加傾向にあり（<b>昨年度対比133%</b>） 特に<b>経済学部</b>は<b>昨年度対比143.4%増</b>で大きく増加 <b>外国語学部</b>は6専攻から4専攻に減ったことにより減少したが、対象の4専攻で比較した場合、2076人から2045人で<b>昨年度対比98.5%の横ばい</b> <b>国際学部</b>は昨年度の3専攻で比較した場合、1389人から1657人で<b>昨年度対比119.3%の増加</b></li> <li>・入学人数は<b>定員の1.125倍</b>の675名を順調に確保</li> </ul>
---

### (2) 令和2年度学内行事予定について

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1学期に予定されていた多くの行事が中止・延期となった。資料の行事予定表は、4月3日現在のもので、感染状況によっては今後も予定の変更が想定されます。

### (3) 令和2年度大学組織について

- ・これまで教育組織と事務組織それぞれに併設されていたセンター等の組織を事務組織に統合し、管理運営機能を強化した。
- ・大学事務局の一部の組織名称を変更した。

■大学事務局組織の新旧比較表 ※【】は2019年度教育組織

変更後 2020年度	変更前 2019年度
学生課	学生支援グループ
学生相談室	学生支援グループ 学生相談担当 【学生相談センター】
キャリアセンター	キャリア支援グループ 【キャリアセンター】
教務・教育企画室	教務グループ 図書館事務グループ
グローバル教育推進室	グローバル戦略室
教職センター	教務グループ 教職担当 【教職センター】
ROCK	オープンカレッジグループ 【麗澤オープンカレッジ】
大学ITソリューションセンター	大学ITソリューション室 【情報教育センター】
大学アドミニストレーションオフィス	教育研究支援グループ 学長室
アドミッション&PRセンター	入試広報グループ

以上